

令和2年度 第4回社会教育委員会議概要

- 1 日 時：令和3年2月10日（水）採決依頼を委員へ発送
令和3年3月1日（月）採決結果確定
- 会 場：書面会議
- 3 委 員：（書面会議参加者）
木村議長、笹井副議長、有賀委員、金子委員、倉澤委員、齊藤委員、高須委員、高橋委員、永井委員、西本委員、平井委員、深野委員
- 4 職 員：（書面会議対応職員）
湯浅生涯学習課長、中村生涯学習副課長、相澤主査
- 5 傍聴者：0名
- 6 概 要

【付議案件及び採決結果】

議案	賛成	反対
報告事項（1）令和2年度主要な社会教育事業の結果及び予定について		
報告事項（2）令和3年度予算概要について		
協議事項（1）令和3年度社会教育関係団体への補助金について	12	0

協議事項（1）全員賛成により承認

【ご意見】

報告事項（1）について

- ・コロナ禍の中で多くの事業が中止を余儀なくされ残念である。おだわら市民学校については、令和3年以降の予定が延期され調整も厳しい状況であると察する。
- ・中央図書館が改修業務等に追われる中、東口図書館の役割や立地における成果など興味深く、今後に期待したい。
- ・今年度はやむを得ず中止となった事業が多くあったが、次年度に実施できることを祈る。
- ・コロナ禍の下での事業中止が多かったことは仕方がないが、社会教育の機会が失われたことは残念である。
- ・事業No.20 地域体験学習事業はなんとか実施していただきたい。
- ・多くの事業において実施中止となってしまったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止策としては適切な判断であったと思う。
- ・おだわら市民学校や指導者養成研修に多くの参加者が集まり、一部開催できたことは良かった。

報告事項（２）について

- ・ 財政再建が命題の市政にあって、安易に前年踏襲という訳にはいかない。必要な箇所には増額し、見直しが必要な事業は厳密に再検討することが求められる。全事業に精通しているわけではないが、事業No.12のキャンパスおだわら事業における情報誌発行については、紙媒体に拘らず、SNS発信等検討して費用対効果を検証して欲しい。
- ・ 史跡石垣山保全対策事業については、戦国時代の二城が遺る小田原らしい対策事業であり、石垣山を今後更に充実させる施策は重要であると思う。
- ・ 東口図書館管理運営事業は巨額であり、当初予算より減額となっているが、今後も効率化を進めて削減に取り組む必要がある。

協議事項（１）について

- ・ 一般論で言うと、補助金制度は社会教育関係団体の活動推進力を弱める。初めに補助金が決められていると、その範囲内での活動しか考えなくなり、創造力や企画力が徐々に失われていく。青少年健全育成組織を代表する立場からすれば、増額を言わないといけないが、最大限有効的に運用していきたいと考える。
- ・ 個人や法人で指定文化財を維持するのは大変である。また、民俗芸能の後継者育成も困難が多いことから、補助金の増額は有効な施策と判断できる。他事業については相応。